

2019 年度春期講習予定

授業日程一覧表

月 →	3 月										4 月			
日 →	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	
↓時間帯↓	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
朝 8:30-11:30	大学受験古文 初歩 (全 4 回)				6 年国語 (後半の 8 回) (2 回+8 回=全 10 回)									通常授 業開始
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2		
午後 2:00-5:00	大学受験英語 初歩 (全 4 回)				5 年国語 (全 8 回)									
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2		
夜 6:00-9:00	6 年国語 (前半の 2 回)		中学国語 (全 5 回)				大学受験現代文小論 (全 5 回)							

*宿題は一切ありません。その場ですべてをマスターする集中学習法！ ただし、復習は勧めます。自発的にやってください。

*6年生は前半 2 回 (夜) + 後半 8 回 (朝) = 全 10 回です。

1 授業の取り方

各授業とも 1 回 (日) ごとに完結する授業をするため、1 回(日)ずつバラバラに組み合わせてとることができます。

1 回以上、何回でも(例 4 回・9 回・13 回)受講できます。例=6 年国語 3/22,23・3/26,28,30・4/1

2 授業料 全授業に共通です。

- ① 5 回(日)まで=6000 円×受講回数
- ② 6 回(日)以上 3 万円+4000 円×(受講回数-5 回)
- ③ 兄弟姉妹の回数は通算します。(例 姉 6 回+弟 5 回=11 回分の授業料)

3 お申し込み方法

*口頭によるお申し込みはお受けしかねます。

*申し込みフォームあるいはメールによる電子的な方法に限らせていただきます。

- ① ホームページ(<http://www.s-kokugo.com>)の申し込みフォームからお申し込みになることができます。(外部生用・内部生用)
- ② 内部生の方は、通常のパソコンメール・携帯メールでお申し込みになることができます。
- ③ **2 月 18 日(月)正午より**お申し込みを受け付けます。内部生・外部生を問わず先着順に受け付け、定員になり次第締め切ります。
- ⑤ ある授業を申し込んだ後に、回数を増やす、他の授業を申し込む、などの追加的申し込みができます。

3 月 19 日(火曜日)午後 3 時(授業料振り込み期限)までは**キャンセル可能**です。それ以降の**キャンセル・返金はお受けできません**。

返金の場合には手数料として 500 円を引かせていただきます。

- ⑥ 講習内での授業日の振替は席がある限り可能です。

4 振り込み方法

お振込先 お申し込みになった方に個別にお伝えいたします。

お振込み期限 **3 月 19 日 (火曜日) 午後 3 時** ← **4 回以上**おとりになる場合、この期限内のお振込みは 500 円の割引を致します。
授業料より 500 円をお引きの上、お振込み下さい。
お引きにならない場合には放棄したものとみなさせていただきます。
お振込み手数料はご負担願います。

5 授業内容

*宿題は一切ありません。その場ですべてをマスターする集中学習法！ ただし、復習は勧めます。自発的にやってください。

* 1回ずつすべて授業内容が異なります。

* *6年生は前半2回+後半8回=全10回です。

科目	日程・時間帯	内容
6年国語 前半2回 後半8回 全10回 授業内容はすべて異なります。	3月22日・23日(2回) pm6:00-9:00 3月26日～4月2日(8回) am8:30-11:30	①説明的文章と文学的文章をバランスよく配置。記述方式の分析問題により読解。 選択問題練習もやります。 ②簡単な説明文を読解分析→要約 ③入試レベルの漢字
5年国語 全8回 授業内容はすべて異なります。	3月26日～4月2日(8回) pm2:00-5:00	①説明的文章と文学的文章をバランスよく配置。記述方式の分析問題により読解 選択問題練習もやります。 ②簡単な説明文を読解分析→要約 ③5年生レベル漢字 *新5年生が理解できるものを丁寧に分かりやすく教えます。
中学国語 全5回 授業内容はすべて異なります。	3月24日～28日(5回) pm6:00-9:00	①論説的文章と文学的文章をバランスよく配置。記述方式の分析問題により読解。 選択問題練習もやります。 ②簡単な説明文を読解分析→要約 ③中学生レベル漢字
大学受験 現代文小論 全5回 授業内容はすべて異なります。	3月29～4月2日(5回) pm6:00-9:00	①現代的テーマの比較的平易な論説文を、記述方式の分析問題を解くことにより、徹底的に分析・理解する。その上で小論文(要約・自分の意見)を作成する。この論理的な分析と総合のトレーニングを繰り返すことにより、日本語を道具とする論理力を鍛える。同時に現代世界に対する認識を深め読解・小論文の基盤を作る。 ②大学入試レベル漢字。
大学受験 古文 初歩 全4回 授業内容はすべて異なります。	3月22日～25日(4回) am8:30-11:30	①比較的平易な古文を用い、力をつけるにはどのように勉強すべきかの手ほどきをする。 ②徹底的な文法分解による読解→その結果を即マスター→テストにより即確認・定着化、という三段階の方法で、精密な読解技術を能率的に習得する方法をトレーニングする。 ③最高レベルへの方向性を持った基本トレーニングをする。
大学受験 英語 初歩 全4回 授業内容はすべて異なります。	3月22日～25日(4回) pm2:00-5:00	①比較的平易な英文を用い、力をつけるにはどのように勉強すべきかの手ほどきをする。②論説文を英文に即して読解→その結果を即マスター→テストにより即確認・定着化、という三段階の方法で、精密な読解技術を能率的に習得する方法をトレーニングする。 ③超論理的な文法演習→授業の現場で覚えさせる。 ④最高レベルへの方向性を持った基本トレーニングをする。

* 特に小学生の授業に関して、「どの日に物語文をやるのですか？」というような質問がなされます。しかし、この種の質問はなさるべきではありません。物語文を数回やれば物語文が強くなり、説明文を数回やれば説明文が強くなるというわけではありません。読解力は、多様な文章を、できる限り多く精読して獲得されるところの総合的な力だからです。

* 「語彙が乏しいので文章が読めません」という嘆きをよく聞きます。語彙とは、基本的には文脈推理力であり、文脈推理力によって語句の意味を確定していく思考力の問題です。したがって、中高生が「apple=りんご」と覚えるような単純な知識の問題ではありません。文脈推理力は、文章の精密な論理的読解のトレーニングによって培われるものです。辞書を引くとしても、その言葉がどういう意味でその文章の中で使われているかをさらに確定していかなければならないのです。この作業は結果として当然語彙を増やします。その語彙はその人に深く根差すものとなります。

* 特に大学受験に関して、「小論文の書き方を教えてくださいませんか？」という質問がなされます。

これに対しては、小論文なんて簡単だ、「結論←その理由①……、②……、③……、」と書けばよい、という人がいます。

しかし、このように書こうとしても「理由①……、②……、③……、」の部分に何を書けばよいのかわからない人が多いはずです。

小論文を書くということは、形式の問題ではなく、内容の問題であるということです。その内容は、多様な文章の精読を積み重ねることを通して習得される、知識、物の見方、思考方法であるのです。故に、小論文を書くためには、多様な文章のそれぞれについて、まず精密な論理的読解とその正確な要約をして、文章の内容を自分のものにしてしまうくらいに学ぶことが必要です。次に筆者の論と切り結ぶ形で自分の考えをまとめる練習することが必要です。(さらに言えば、このような作業を楽しみと思えることも必要です。)安易な「楽のできるうまい方法」を求め人は、そもそも大学で勉強することに向かない人です。